

今年一年の地域の皆さまからのご理解とご協力に感謝いたします



平成30年12月

東通原子力発電所
青森県下北郡東通村
大字白糠字前坂下34-4
電話 0175-46-3637(広報課直通)

これからも地域の皆さまとのふれあいを大切にしていまいります

～写真で振り返るこの一年～



東通村歩くスキー大会(1/27)

実行委員として大会運営に協力したほか、選手としてクロスカントリースキーに出場しました。

東通村春季ゲートボール大会(5/13)

発電所チーム「つちおと」が参加。競技を通じて地元チームの皆さんと交流を深めました。



国定公園尻屋崎灯台周辺清掃(6/30)

下北の美しい自然と景観を守る活動に参加。地域の皆さまとともに海岸に漂着したゴミを拾い集めました。

東通小学校 スクールコンサート(9/27)

プロの演奏家を招き、コンサートを開催。集まった児童他170名が臨場感ある音楽を楽しみました。



親子エネルギー施設見学会(2/25)

村内に住む親子を対象にエネルギーと原子力を学ぶ見学会を開催。親子33名が発電所見学やレクリエーションを通じて楽しく学びました。

東通村植樹祭(6/9)

尻屋地区の山地に山もみじやブナなどの苗木550本を植樹。立派な生育を願い1本1本丁寧に作業しました。



ひがしどおり来さまいフェスタ(8/25-26)

「よさこい下北」に発電所主体チーム「風舞翔吹」が参加(8/26)。躍動感あふれるダイナミックな舞いで祭りを盛り上げました。

東通中学校 環境・エネルギー教室(10/25)

所員が講師となり、環境問題やエネルギーを学ぶ出前授業を実施。自転車を使った発電体験では生徒たちが発電の大きさを競いました。



発電所の一日も早い再稼働に向け、国による審査への対応と安全対策工事にしっかりと取り組んでおります。

- ▶ 東通原子力発電所では、原子力規制委員会による新規制基準への適合性審査が継続して進められております。
- ▶ 今年5月の審査会合において、耐震重要施設等の直下にある断層については、活動性が無いとする当社の評価に「概ね妥当」との理解が示されたことで、一定の節目を迎えたかたちとなりました。現在は、敷地内を含む発電所周辺の断層が「震源として考慮する活断層」にあたるか審査が行われているところです。
- ▶ また、審査と並行して取り組んでいる安全対策工事については、審査の過程で得られた知見や評価などを適宜設計に反映させながら進め、2021年度までの完了を目指しております。今年は、淡水貯水槽の設置工事や構内道路の整備などを、着実に進めてまいりました。
- ▶ 来年も、引き続き適合性審査への対応と安全対策工事に取り組み、発電所のさらなる安全レベルの向上に向け着実に取り組んでまいります。

